

【礼拝式次第】

司式 岡村 井田 屋田 村同
奏楽 中今 武土 藤寺
受付 内係 祈禱
案名 札 感謝 祈禱
礼拝感謝 祈禱

前奏 美歌 58
信仰告白 566
交読文 37
主の祈り 564
聖書 コロサイ書 1:15~17

祈禱 岡村 同
新聖歌 347
み言葉の伝え 「キリストとは I」

讚美歌 228
聖餐式 配餐... 森井
祈禱... 岡村 同

讚美歌 529
献金
礼拝感謝 // //
報告 栄 541
祝禱(派遣) 中
後奏 新聖歌 58 聖歌 隊

【集会案内】

聖書研究祈禱会 10月10日(水)午後7時半~
早天祈禱会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖書輪読会 10月14日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈禱会 10月14日(日)10:25-10:30

【報告】

☆9月の献金報告ができております。週報棚又は受付よりお取り下さい。

☆10月の「み言葉の伝え」奉仕者は次週14日が朴牧師、次々週21日が信徒伝道日奉仕者として足立 長老、28日は中村牧師が担当します。

☆次週14日は神学校日として第二献金が予定されております。今日の経済万能の時代に神さまのみ言葉をお伝えするのは決して楽なことではありません。神学校の働きが祝され、神学生が固く神のみ言葉への信仰に立つことができ、み言葉をもって、今の閉塞した時代に神の光を届ける役割を果たすことができますよう、祈りをもって献金をお捧げ下さい。

☆星野富弘カレンダー申を購希望の方は、掲示板にございます申込書にて申込下さい。11月11日締切です。

☆特伝案内等
○10/14午後2時~教会コンサート
於・茂原昇天教会
※掲示板をご覧ください。

【分区・支区・教区報告】

○10/8-9 房総地区教会巡り 詳細は掲示板

【10月7日~10月13日の誕生者】

○津久井 姉 ○井上 兄 ○椎原 兄
※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

Table with columns: 集会名, 男, 女, 計, 早天, 祈禱, 会. Rows include 主日礼拝, 聖研祈禱会, 聖書輪読会, 教会学校.

【今日のメッセージ】

- 題 [キリストとは I]
聖書 コロサイ書1:15~17
1. まことの神キリスト・イエス
2. まことの人キリスト・イエス
3. 始源なるキリスト・イエス

【次週(10月14日)礼拝案内】

題 <動揺しつつ留まる>
聖書 マルコ福音書14:66~72
聖歌 38番
讚美歌 79番 523番
新聖歌 323番

【次週(10月14日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え... 朴 立里枝内田延上田諭
司式者... 足
奏楽者... 中
受付者... 三寺
案内者... 藤安井
名札当番... 武稚園教
礼拝感謝祈禱... 井
// // ...
csお話し... 武
会堂清掃者... 幼
// // ...
花係... 岡
看板書ぎ... 戸部波

【聖書から】
自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごさなさい。
マルコによる福音書九章五〇節
本日の福音書聖書日課の物語全体は難解である。しかし、主イエスへのヨハネの報告内容から、それが「十二人の陥っていた無理難題、傲慢を契機としていたことは容易に読み取れる。加えてこの問題は、その信仰告白にも明らかならず、弟子として失格者たちであることが明らかになるという文脈にもある。
掲げられた主イエスの御言葉は、彼らの狭量さを戒めて寛容さを説き、さらには独善を戒めて自己に対する厳格さを説いてのちに、主イエスの弟子として必要な固有性や独自性を求める、物語の結びの一節である。
これは、古代文化のみならず旧約聖書による「塩」の意味理解を背景にして語られていない。神への穀物の犠牲に必ずかけられなければならない。神

方、神・キリスト・人いざれとの関係における(エフソニに)
(「塩味を付けられる」との表現)という「食す」
約の「塩」(レビ記二章一三節)の「祭司」のみ食す
いう「永遠の契約」(民数記一八章五節)の「王」
下、「塩」の採取して「民に分配する」(一三章五節)の「王」
権という「塩」の契約「歴代誌下一三章五節)の「王」
どこから、ここで「塩」は「超えて不可欠なもの」と
含め、キリスト者としての「超えて不可欠なもの」と
水平・現実である。他者関係にとて「不可欠なもの」と
を示して「キリスト者」として、何よりもまず「神関係」
をキリスト者にとて、何よりもまず「神関係」
いて不可欠なものとは「私」の「外」
から賦与されたものは「私」の「外」
「神との間」にある「私」の「外」
よって「神との間」にある「私」の「外」
に立って「神との間」にある「私」の「外」
過さず「神との間」にある「私」の「外」
節)「神との間」にある「私」の「外」

【礼拝心得】

- ①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入室したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入室し、特に祈禱の時は入室を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。